



朝鮮の始祖檀君

「檀君を始祖とする朝鮮民族が 5,000 年の悠久な歴史的期間、ひとつの血筋、ひとつの言語、ひとつの文化伝統をひきついで強く生きてきた事実は、7,000 万のわが同胞が北にしようと南にしようと海外にしようと、政見と信教、財産の違いにかかわらず、民族分断の悲劇に終止符をうち、祖国統一の正義のたたかいに力強く立ちあがるよう励ましています」

（朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第 9 期第 6 回会議の報告）

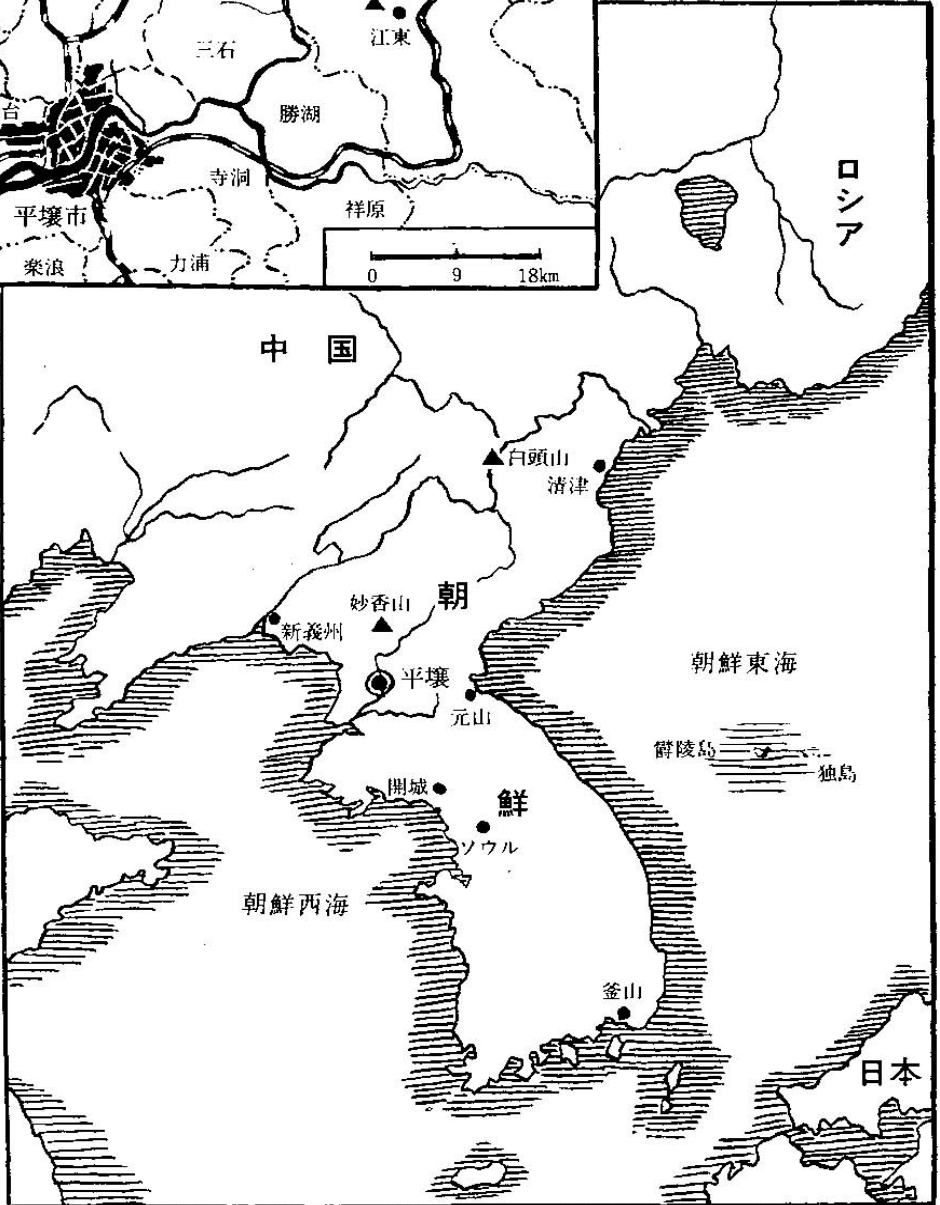
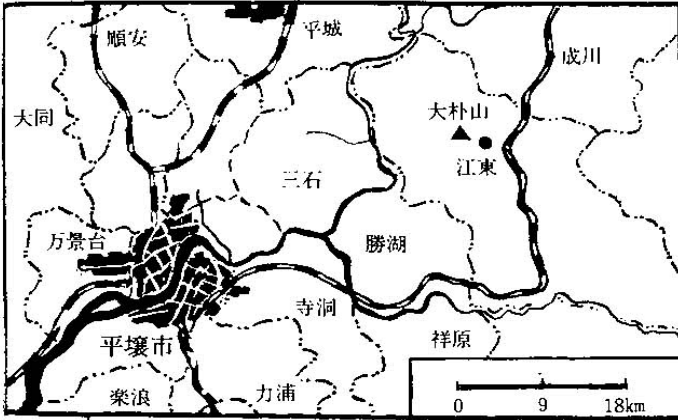
写真提供；考古学研究所
文化保存研究所
遺物復元製作；鄭恩官
翻訳；外国文出版社

朝鮮の始祖檀君

(研究論文集)

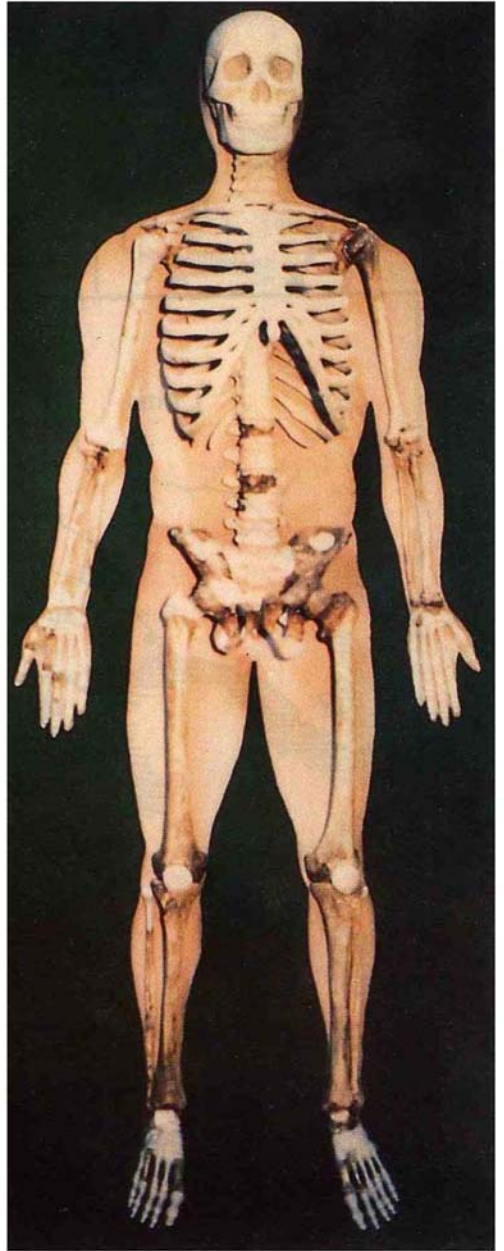
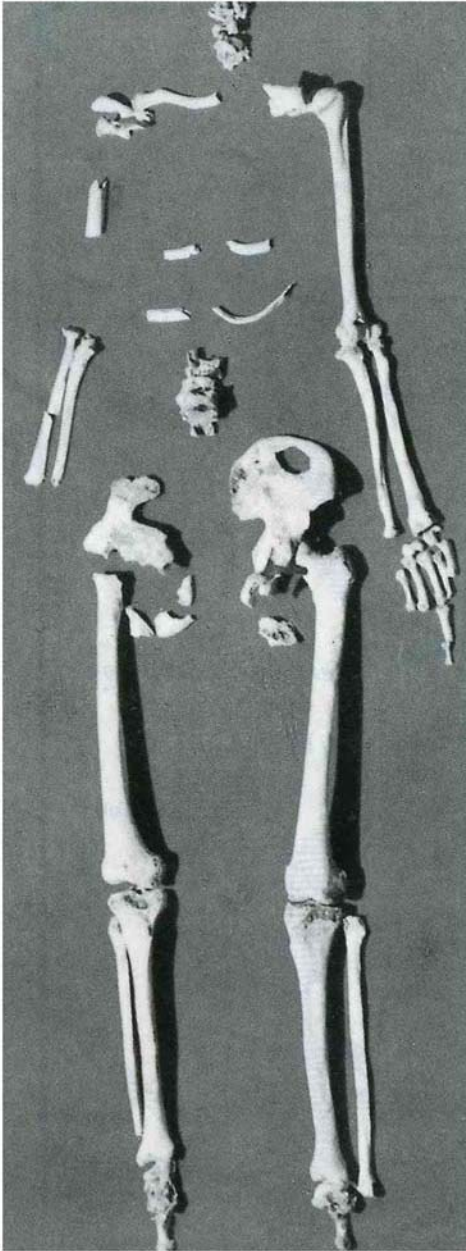


朝鮮・平壤
外国文出版社
1994

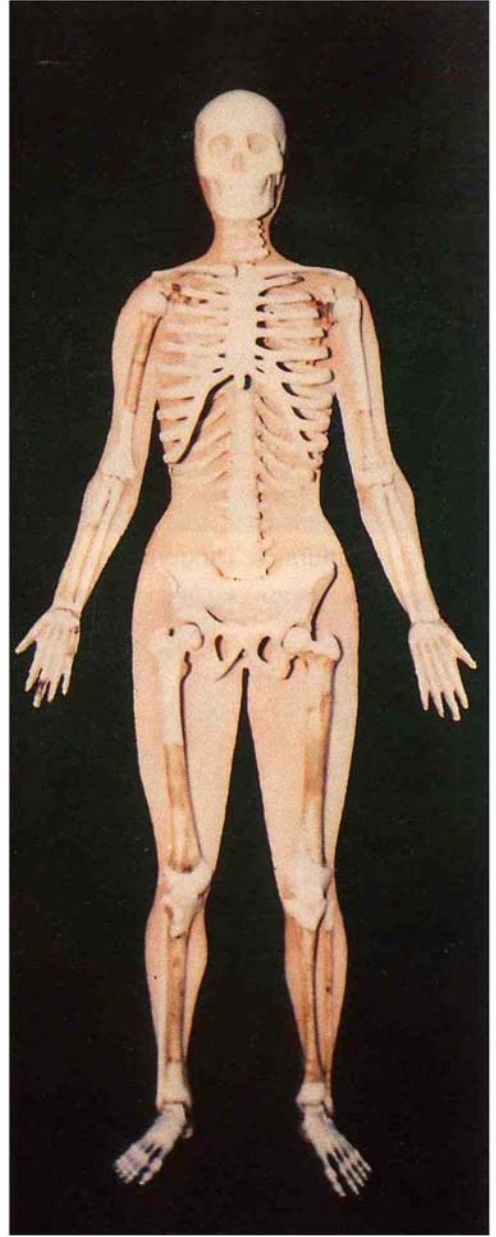
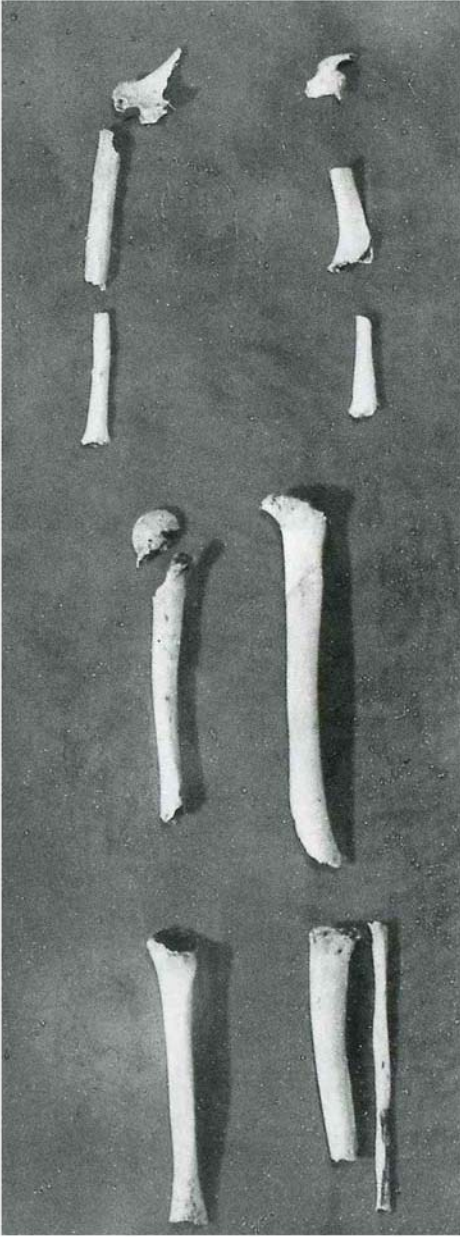


檀君陵位置図

檀君陵で出土した檀君と妻の遺骨および復元図



檀君の遺骨とその復元図



檀君の妻の遺骨とその復元図



檀君の大腿骨



檀君の骨盤



檀君の手骨



檀君の脛骨と腓骨



檀君の上膊骨、尺骨、橈骨

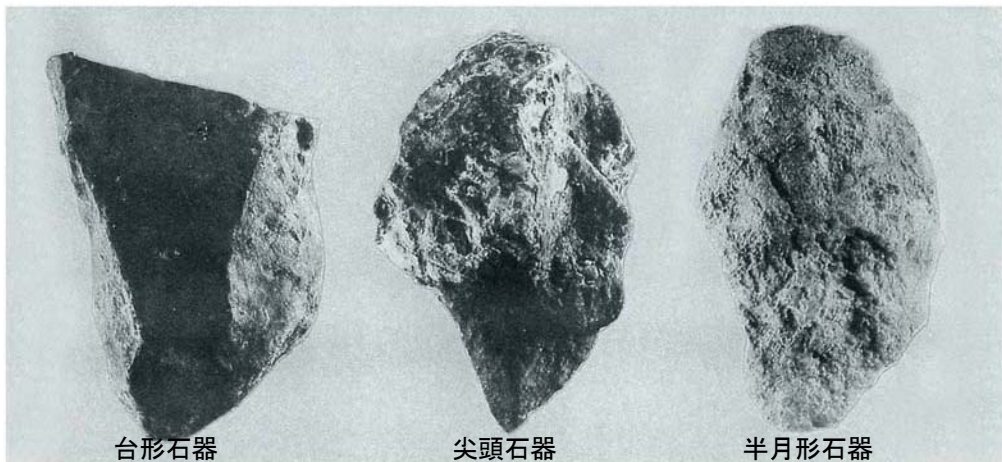
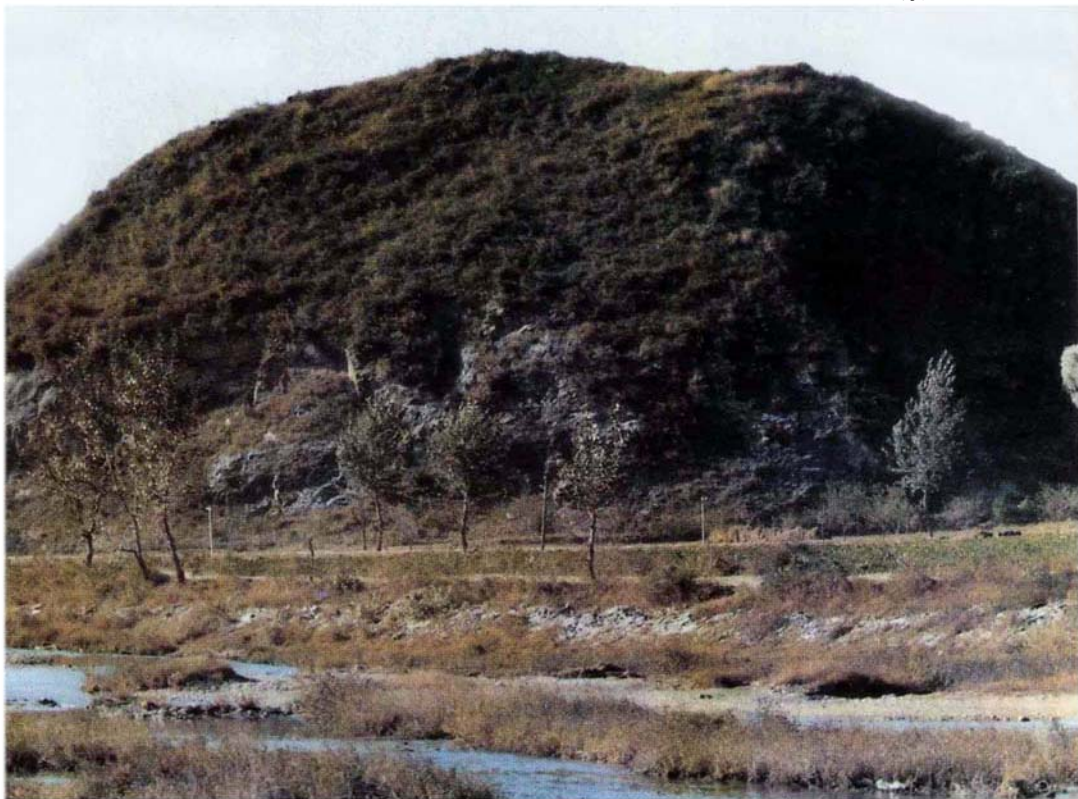
檀君陵で出土した金銅帯の板片と金銅王冠の
前立て部の装飾および巻き帯の破片



檀君陵記績碑と前面の碑文



大地立焉世而不新其惟我 國故檀君以天帝之神孫
 初燕虎率壽人 萬神氏辰推誠焉君乃建國之號朝鮮命彭虞
 山從化神 天歷年一十有七歲又成檀君從檀君各其未
 在音珠尚不萌於至今也則胡高 無違官奉陵之禮也
 也胡守者乃前郡守金公名壽哲全南羅州人以其均樂進士
 名心後流海天壽南金海人志洛首露王二華官嶺谷縣監之
 感年尚言於天相 奉禮志防者呼天惟超之遠近嚮余不從
 不 故也歎奇人請書其志于石不揆備述敢整若人之志
 宣 禧月并允速邦故 在麓舉方并樂談；淚水洋
 宣 代歎姑教火食煙人 以 婚嫁要以祀亦吳氏歎云致
 洵俗淳淳 代歎君歎若也則
 雖未 招野 珠自為由
 也後人之余痛達 堅拜科六



コムンモル遺跡で出土した原人が使用した石器



大峴洞遺跡
(平壤市力浦区域大峴洞)

全 景

「力浦人」(旧人) 復元彫刻



「力浦人」の
頭蓋化石

万達里遺跡（平壤市勝湖区域万達里）

「万達人」（新人）の頭蓋化石



正面



後面



側面



正面



下顎骨

側面



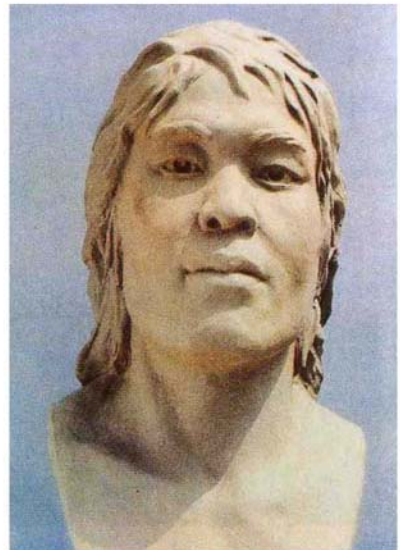
黒曜石器



側面

「万達人」の復元彫刻

正面



沈村型支石墓

全 景

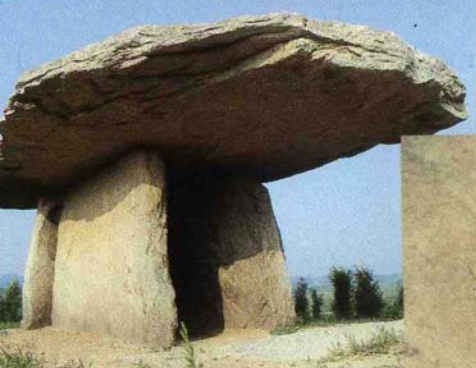


近 景

五徳型支石墓

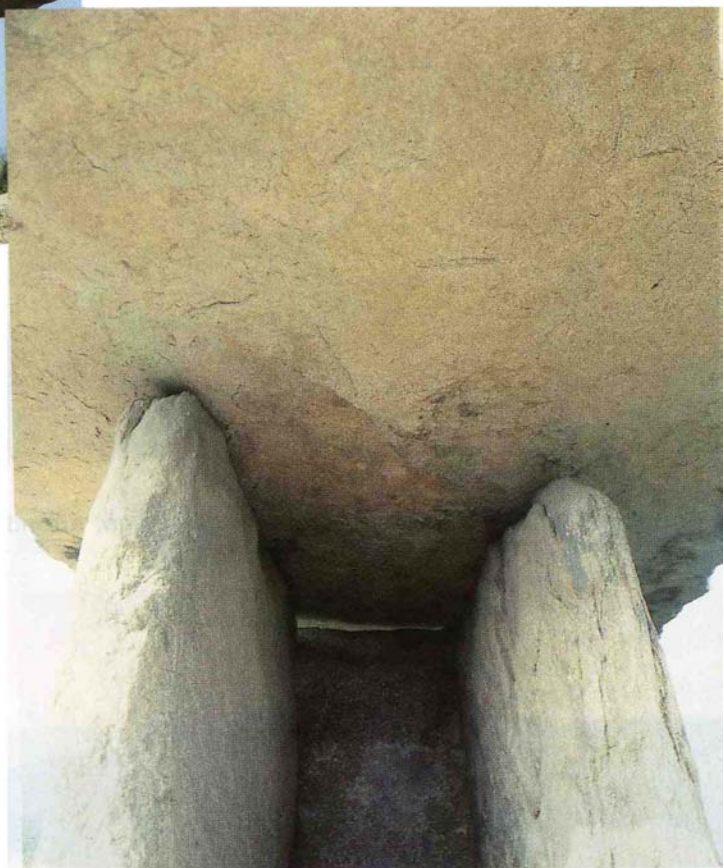
黄海南道殷栗郡冠山里第 1 号支石墓の近景





側面

冠山里第1号支石墓内部

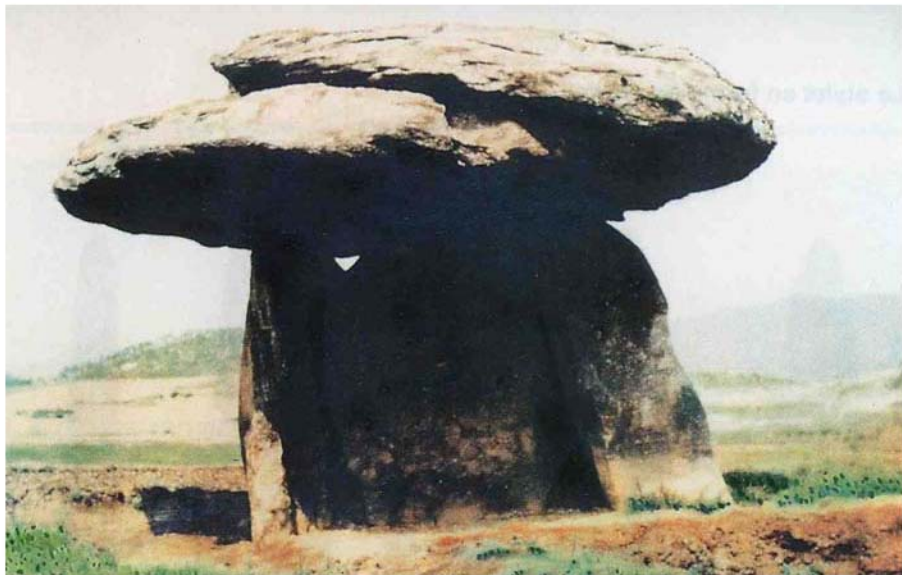


連結部



黄海南道安岳郡
路岩里支石墓





黄海南道白川郡竜東里の支石墓

墨房型支石墓



全 景

墓室の内部



琵琶形短劍



琵琶形短劍と
琵琶形青銅槍先

獸図帯鉤